

第15回 水景フォトコンテスト 2023 選考結果

コロナ禍がようやく落ち着き、外出や旅行の機会が増えました。今回も水景フォトコンテストにたくさんのお写真をお寄せいただきありがとうございます。おかげさまで15回目を迎えることができました。弊社会長香取良一、弊社フォトコンテスト係、国内外の美術館等で活動を展開する写真家蔵真墨氏でお寄せいただいた写真を一点一点拝見し、添えられた文章も拝読させていただき選考しました。噴水の魅力が写っていて、加えて写真の魅力があるものを選びました。

【 最優秀賞 】



「8月6日のヒロシマ」 村上泉さん撮影

風を受けて縦に伸びる噴水の水の形がきれいに出ています。画面が整理されていて、噴水と女生徒を中心に左右対称の構図ですが、女の子に動きがあることと雲がアシンメトリーなので見ていてちょうど良いバランスです。お天気も写真の要素の一つで、青空があるからこそ噴水も爽やかに映えます。撮影地は広島歴史的な意味を持つ場所です。噴水は平和で豊かな時代の象徴です。これからも多くの人に噴水を愛でる時間がありますように。

【 準優秀賞 】



「静謐」 中本則昭さん撮影

噴水の水しぶき、水面の波紋と桜の花びらの形が白黒写真の中では等価に白い水玉に見えます。日中の一瞬、非現実の世界を見るような静かな水景です。白黒写真にして成功しているようです。

【 佳作 】



「夏模様」

佐竹輝昭さん撮影

雲とミスト噴水が連なって、人々が雲海にいるような面白い写真です。青空と建物が同系色なので全体的に青と白のすっきりした画面になっています。人々はさりげなくもほぼ等間隔の距離をとっていて、これはコロナ禍を経験して身についた距離感なのかもしれません。現代の日本の空気感が写っているとしたら、立派な時代の記録でありえますね。

【 佳作 】



「トワイライト ファウンテン」

水野敬雄さん撮影

富山県富山市にある環水公園のこの噴水は何を隠そう、夏に期間限定で弊社が設置いたしました。広角レンズで風景全体をバランスよく撮ってあります。夕方から夜に移行するマジックアワーの空模様を背景に噴水の色も形もきれいにえています。噴水の水の表情は概してシャッタースピードの加減で形をとらえられるのですが、シャッタースピードが長すぎても、短すぎてもうまくいかず、この感じがちょうど良い加減です。

【 佳作 】



「君と踊りたい」

芦川 努さん撮影

人物に近寄って自然な表情を写真に収めるのは難しいものですが、噴水の中で遊ぶ自然で楽しそうな雰囲気が伝わってきます。噴水の水玉と画面に散らばるカラフルな色、男の子のリラックスした満足げな表情、全体が相まって良い感じですよ。

ご紹介できる作品数が限られており残念ですが、選にもれた写真にも良いものがありました。主題に寄ったり引いたり、縦にしたり横にしたり、画角を左に右に動かして、さまざまに画面を作っておられるようでした。夜の撮影は三脚を立てて露光時間を長めにすると構図も安定して良いようですね。

またの機会にさらに素晴らしい写真を拝見できることを楽しみにしております。

フォトコンテスト係